

☆韓国の遊び国際理解教育授業案

林美恵子

- 1 時間:90分
- 2 学習対象:小学生
- 3 目標:韓国の子供たちの遊び道具を実際に作って、それを使って遊んでみることを通して韓国への親しみ、理解を深めていく。

4 時間配分:

あいさつ、講師紹介、諸注意	5分
韓国の人形、おもちゃなどのグッズ紹介	8分
韓国の紹介パワーポイント	10分
韓国のあいさつの言葉紹介	10分
韓国の遊び「チェギ」の製作	20分
韓国の遊び「チェギ」にチャレンジ	20分
韓国何でも質問タイム	10分
まとめと振り返り	7分

5 授業展開:

- ①韓国の民族衣装の人形やおもちゃなどのグッズから韓国紹介の導入とする。それらを実際に子供たちに手にとって見てもらう。
- ②VTRにより、韓国の生活様式、文化、産業などを見てもらう。
- ③韓国の簡単なあいさつの言葉や数の数え方等にトライしてもらう。
- ④韓国のお正月に行う子供たちの伝統的遊び「チェギ」について、道具から製作し、実際にそれを使って遊んでみる。本来は、韓紙(日本の和紙に似ている)で硬貨を包んで作ったもので、それを足で蹴って遊ぶ。韓国の現代っ子たちはスーパーのレジ袋で硬貨を包んで遊んでいる。それを今回、みんなにチャレンジしてもらう。
- ⑤質問タイム、まとめと振り返りで、韓国の現状を知り、日本がアジアの一員であること、日本の、川口市の足元で既に国際化は始まっていること、幅広い視野を持ち、「生きる力」を身につけていくことなどを確認する。

6 用意するもの:

講師:人形、おもちゃ等のグッズ、紹介VTR、「チェギ」のサンプル、パワーポイントコンテンツ

学校:PC、ホワイトボード、マグネット、マーカー、長机、多量の輪ゴム

子供たち各自にスーパーのレジ袋1枚、10円玉3枚、はさみ

7 備考:

- ①子供たちには動きやすい服装で準備してもらう。
- ②「チェギ」にチャレンジしてもらうので、ある程度広い部屋が必要。